

ほっとニュース

発行：特定医療法人 一成会 木村病院 / 企画広報室

特定医療法人 一成会 理念



医療機能評価更新受審に取り組みます

特定医療法人一成会理事長・木村病院院長 木村 厚

皆様、新年あけましておめでとうございます。

一成会は、これまで、医療の質を高め、より効率的な医療を行なう努力をしてきました。その過程で、大いに効果があったものに「医療機能評価」というものがあります。これは、日本で唯一の第三者機関による、病院が提供する医療の機能に対する、評価と質改善の仕組みです。

わが国で、初めて「病院機能評価」という言葉が公になったのは1981年のことでした。以来、関係者の努力により、95年には(財)日本医療機能評価機構が設立され、木村病院も、98年に最初の認定を受け、それ以来継続しています。

病院機能評価の目的は、病院医療の質の向上です。今日、当たり前のことになった、「病院の組織化、効率化」「患者サービス」「医療安全」「診療、看護ケアの適正化」などの多くは、この医療機能評価を受ける中で学びました。

木村病院のロビーには、日本医療機能評価機構による認定書を掲示してありますが、一般の方々の関心は、そう深くはありません。これは、残念でもあり、PRの努力不足という反省もあります。

木村病院は、今年、機能評価の更新受審を行ないます。さらに、医療の質を上げ、効率的な医療を行なうことで、地域の皆様が安心して暮らせる医療と介護を提供して行きたいと考えています。

合わせて、2月に開催される東京都病院学会の学会長を私が務めますが、そのテーマも「病院機能評価を考える 一新評価体系に向けて」であります。

本年も、地域の皆様のために努力します。皆様のご支援ご鞭撻をお願いいたします。

今年一年の皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。



今年の花粉は去年の3~7倍



鼻水が出る

味やにおいがわからない



今年も花粉が飛散する季節になりました。昨年の猛暑の影響で、今年の花粉の飛散量は例年以上と予想されています。

今年の傾向を知り、早めの対策をとることで、いやな季節を乗り越え、気持ちのいい春を迎えて下さい。



くしゃみが出る

口が渴く



花粉症症状チェック

ご自身では気づいていなくても左のいずれかの症状があれば花粉症の可能性がります。ひどくなる前に医師に相談しましょう。



鼻がつまる
目がかゆい

よく眠れない



花粉症 早目の治療をおすすめします

花粉症は、花粉が飛ぶ前か、飛び始めの早い時期で症状の軽いうちにお薬を使うと、症状が出るのを遅らせたり症状を軽くすることができます。それを花粉症の初期治療といいます。

当院では、花粉症の症状を抑える飲み薬や目薬、点鼻薬なども処方して初期治療を行なっています。最近では、効き目が早く、眠気などの副作用も少ない飲み薬も開発されています。症状はもちろんですが、仕事内容、その人に合った薬の処方を中心に掛かっています。相談しながら、考えていきましょう。ひどくなる前にお気軽にご相談下さい。



くしゃみ



鼻みず



鼻つまり

症状 ▶

のみ薬 ▶

抗ヒスタミン薬

くしゃみや鼻水が主症状である場合によく使用されます。

ロイコトリエン受容体拮抗薬

鼻つまりに対する効果が優れています。

点鼻薬 ▶

鼻噴霧用ステロイド薬

くしゃみ・鼻みず・鼻つまりのいずれにも効果があります。